

諏訪湖クラブニュース

NO. 29



も く じ

- <巻頭挨拶>
令和2年度総会に代えて
- 令和2年総会資料
- 新入会員紹介
- 理事会報告



令和2年度総会に代えて

会長 沖野 外輝夫

令和元年11月頃、中国武漢市周辺で奇妙な肺炎患者が発生しているというニュースを目にしたのが発端でした。その原因が新型コロナウイルスに関係しているそうだということは分かりましたが、それがその後地球規模での拡がりを見せるとは思いもしませんでした。武漢という都市は三国志にも登場する歴史的に有名な地域にあり、現在は重工業都市として日本でも有名ですが、私が所属している日本陸水学会にとっても同じ研究領域を専門とする仲間が多く居る地域でもあります。私が武漢大学での河川と湖沼に関するシンポジウムに出席した時には市内を流れる揚子江にはカワイルカがまだ生息していました。ただし水質汚染にも驚きましたが、大気汚染のひどさは尋常ではありませんでした。武漢大学のすぐ傍には大きな湖があるのですが、大学の屋上に上がっても湖は全く見えず、夜は真上に満月が輝いているのに市内はすっぽりとスモックに覆われ、自動車のライトは数メートルしか見通せない状況でびっくりしたことを覚えています。1960年代の東京で見られたスモックよりも酷いと思ったことが記憶にあります。当時、武漢大学の若い仲間たちはその大気汚染や水質汚濁に真剣に取り組み、精力的に研究を進めていました。彼らの消息は今のところ全く不明です。元気で居ることを願うばかりです。

令和2年の正月が明けて日本国内でもようやく新型コロナウイルスの危険性が認識されるようになりました。それでも諏訪湖クラブの活動にまで影響するとはまだ思ってもいませんでしたが、その後の急展開は皆さまご承知の通りです。そのようなわけで諏訪湖クラブの総会も開くことが出来ず、変則ではありますが、諏訪湖クラブニュース第29号の紙上での開催とさせていただきます。ご理解のほどよろしく願いいたします。



令和2年度 通常総会開催中止 および 総会の書面決議のお願い

巻頭挨拶のとおり、コロナ禍の予断を許さない状況に当クラブの定時総会も中止せざるを得ないと判断し、本年度の総会議案につきましては書面表決とさせていただきます。時期も遅れ申し訳ありませんでしたが、どうかご理解を下さいますようお願い申し上げます。

つきましては 本ニュース掲載の下記議案をご確認いただき、それぞれにつき賛成か反対か、その他必要事項を同封の返信用ハガキに記入・署名いただいて8月末日までにご投函お願いいたします。

なお 議案に賛成いただけましたら、併せまして同封の払込用紙にて年会費の納付をどうかよろしくお願いいたします。

記

議 案

- 第1号議案 令和元年度(平成31年度) 事業報告
- 第2号議案 令和元年度(平成31年度) 会計報告
- 第3号議案 令和2年度 事業計画 (案)
- 第4号議案 令和2年度 予算 (案)

以上

<同封の書類>

回答ハガキ

ゆうちょ払込書

【第1号議案】

令和元年度 事業報告

1. 理事会の開催：4/14、5/12、7/21、9/15、10/13、11/17、12/15、1/19、2/16、3/15
2. 総会の開催
6月2日（日）15:30～ 諏訪市文化センター第3集会室(2F)にて開催。
【記念講演】 金子田美氏 カンボジア紀行
3. 諏訪湖浄化研究
第4フェーズ：ナノバブルの浄化有効性に関する検討
 - 1) 曾根遺跡周辺での魚探の有効性調査(8/6～)
 - 2) 「(株) いであ」実験時の観測(8/25)
 - 3) 「鴻池組」の実験に協力(9/10～)
4. 諏訪湖創生ビジョン推進協議会（事務局：沖野、宮原、高木、五味、山村）
 - 1) 事務局会議等：3/11：信州協働大賞受賞
総会（3/12、5/27）、事務局会議（4/23、7/10、9/12）
諏訪湖の日制定キックオフイベント（9/23）
 - 2) 諏訪湖通信の発行：第10号～第17号
 - 3) 部会、ワークショップに参加
 - 4) 推進会議のロゴマーク選定委員会に参加、選定
 - 5) 諏訪湖読本諏訪振興局に提出、契約完了（7/10、73,440円）
 - 6) JICA2019年度特別研修
「ミャンマー国（インレー湖）統合的流域管理および治山・治水」に対応（11/1）
現地シャン州でのシンポジウムで事例報告、インレー湖視察（沖野 R2. 2/16～2/23）
5. 諏訪地域を美しくする推進会議
 - 1) 運営委員会（6/28、2/27）
 - 2) 総会に出席
6. 全国一斉水質調査に参加：6/2（諏訪湖天竜川水系約30地点担当）
実行委員会全国委員（長野県）として参加
長野県水質マップの作製（長野県水質マップネットワーク）
※河川財団助成事業
7. 諏訪ユネスコ協会総会で講演（沖野）
8. 「すわまちクラブ」の活動に協力
9. 「しがっこクラブ」の活動に協力
10. 鴨池川エナジーパークの活動に協力
11. 信州ネットSUWAの活動に協力（信州ネット総会 6/13、7/27、9/28、1/22）
12. 長野県（「諏訪湖環境研究センター（仮称）のあり方検討会」）
諏訪市（環境審議会、行政改革推進委員会、公民館自然講座、等）
茅野市（博物館協議会等）の各種委員会委員としての協力
13. 諏訪湖クラブホームページ

【第2号議案】

令和元年度(平成31年度) 会計報告
(平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

<収入の部>

単位:円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	292,933	292,933	0	前期度よりの繰越金
会費	210,000	213,000	3,000	正会員 71名分
雑収入	10	73,442	73,432	諏訪湖読本原稿料(¥73,440)・利息
合計	502,943	579,375	76,432	

<支出の部>

科目	予算額	決算額	比較増減	備考	
事業費	諏訪湖保全	100,000	80,000	△ 20,000	諏訪湖浄化実験
	自然エネルギー	5,000	0	△ 5,000	
	まちづくり	5,000	0	△ 5,000	
	大会・総会費	10,000	7,700	△ 2,300	会場費 その他
	小計	120,000	87,700	△ 32,300	
事務経費	事務費 事務委託費	80,000	27,800	△ 52,200	理事会会場費・HPメンテナンス費用
	印刷代	27,000	26,430	△ 570	総会資料・諏訪湖クラブニュース
	通信費	32,000	25,754	△ 6,246	郵送料・はがき代・振込手数料
	その他	30,000	56,200	26,200	負担金:NPOスマートレイク賛助年会費 10,000円 美しい環境づくり諏訪地域推進会議会費 10,000円 水環境全国一斉調査協賛金 20,000円 慶弔費:矢崎元理事(元茅野市長)生花代 16,200円
	小計	169,000	136,184	△ 32,816	
合計	289,000	223,884	△ 65,116		

収支差額	213,943	355,491	141,548	次期繰越金
------	---------	---------	---------	-------

令和元年度(平成31年度) 諏訪湖クラブ監査報告

令和元年度 諏訪湖クラブ会計決算について、監査の結果、収入・支出には不適切なくかつ 帳簿の整理および証票書類の保管状況も良好であると認めたので報告します。

令和2年 8月 5日

監事

鮎澤 光昭



【第3号議案】

令和2年度 事業計画（案）

1. 令和2年度総会の開催（令和2年6月7日に開催予定のところ、新型コロナウイルス感染予防のため書面開催とすることを理事会（6月21日開催）にて決定、諏訪湖クラブニュース29号で会員に通知、議事内容の賛否はハガキにて行うこととした。

定例理事会の開催（原則として毎月第3日曜日、拡大理事会として開催）

2. プロジェクト活動

1) 諏訪湖保全研究・事業

- ・全国一斉水質調査（令和2年6月7日）への協力（運営委員、現地調査）
- ・二枚貝養殖研究への支援
- ・「諏訪湖底層貧酸素化対策」実験、事業の推進
- ・諏訪湖淡水シジミ復活作戦への協力、支援
- ・一般向け「諏訪湖読本」（仮称）の出版、配布
- ・諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加、運営への協力（事務局活動への協力）
- ・天竜川流域土砂総合管理計画に協力（モニタリング委員会委員として参加）

2) 自然エネルギー活用計画の推進

- ・「信州ネットSUWA」、「(株)信州みんなの自然エネルギー」活動への協力
- ・地産地消事業/環境保全型農業への支援

3) 諏訪圏域まちづくり計画への支援

- ・美しい環境づくり諏訪地域推進会議への協力（運営委員）
- ・諏訪湖創生ビジョン推進会議への参加、運営への協力（推進会議事務局に参加）
- ・諏訪市環境審議会への協力
- ・「諏訪市女声ネットの会」、「諏訪市いきいき市民推進チーム・輝くSUWA」等の活動に協力
- ・すわまちクラブ活動への協力
- ・(国)信州大学、(公)諏訪東京理科大学の研究活動に協力
- ・諏訪圏工業メッセへの協力
- ・その他会員の環境保全活動への支援

3. 講座、講演会、環境事業の開催と支援

- ・諏訪湖環境保全セミナー、講演会等の開催（他団体との協働）

4. 会報の発行と新規会員の獲得

- ・諏訪湖クラブニュースの発行
- ・諏訪湖クラブの将来計画の検討（検討チームを立ち上げ）
- ・ホームページの充実と活用

5. その他、クラブの目的に沿う事業

【第4号議案】

令和2年度 予算(案)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

<収入の部>

科目	前年度決算額	予算額	備考
前期繰越金	292,933	355,491	前年度よりの繰越金
会費	213,000	210,000	会員70名分
雑収入	73,442	2	銀行利息等
合計	579,375	565,493	

<支出の部>

科目	前年度決算額	予算額	備考
諏訪湖保全	80,000	100,000	諏訪湖浄化実験
事業費			
自然エネルギー	0	5,000	
まちづくり	0	5,000	
大会・総会費	7,700	10,000	会場費 その他
小計	87,700	120,000	
事務経費			
事務費	27,800	30,000	理事会会場費、HP制作費用
事務委託費	26,430	30,000	総会資料、ニュース 他
印刷代	26,430	30,000	総会資料、ニュース 他
通信費	25,754	30,000	郵送料、ハガキ代、振込手数料 他
その他	56,200	50,000	負担金、慶弔金 他
小計	136,184	140,000	
合計	223,884	260,000	

収支差額	355,491	305,493	次期(令和2年度)繰越金
------	---------	---------	--------------

<新入会員紹介>

知る人ぞ知る 諏訪とスポーツの物語

新入会員 船木 正也

諏訪は、古代から連綿とつながる躍動感溢れる神話の国であり、近代では製糸業、そして精密機器を背景に世界に名を馳せる産業の街。その文化を育み、民の暮らしを見守ってきた諏訪の湖。新型コロナウイルスの脅威に晒されている今日、目指すのは、昔の諏訪湖に戻るのか、新しい諏訪湖に進化することか？

こうした時に、あるべき諏訪湖の姿を模索する「諏訪湖クラブ」に入会できたのは、何かの巡り合わせとも感じています。

さて、挨拶代わりに私が今書き始めているのは、諏訪湖にまつわる物語ではなく、八ヶ岳の懐にあり静かなる諏訪湖を囲むこの土地が、日本のスポーツ史に色濃く残してきた貴重な足跡についてです。

近年では北京五輪4x100m銀メダリスト塚原直貴選手、そして平昌五輪500mの金メダリスト小平奈緒選手らの活躍は記憶に新しいところですが、1964年東京五輪当時にも表れた「諏訪」の名を忘れてはならないでしょう。



【知る人ぞ知るちょっと良い話】

その①

オリンピックでは今も昔も常にメダルを期待される競泳大国日本ですが、前回東京五輪では男子の4x200m自由形リレーの銅メダルのみ。むしろ注目は「ミミ」の愛称でアイドルの人気があった木原光知子選手でした。その日本競泳界と諏訪との関り、それは1963年に下諏訪南小に建設された50mプール。来年に先送りとなった東京五輪に向けて日本競泳陣は東御市・湯ノ丸屋内プールを強化に使用しますが、何と前回東京五輪では下諏訪町の“小学校のプール”が強化合宿地となっていたのです（今は老朽化のために取り壊されてしまいました）

その②

歴代オリンピックの自転車競技の中で最も熾烈な争いとして今も語られているのが前回東京五輪のロードレース。栄光のゴールを目指した100人を超えるサイクリストたち。195km先のゴールに真っ先に飛び込んだのはツァニン選手（伊）でした。日本人トップは大宮政志選手。着順は36位。しかし記録は4時間39分51秒。優勝したツァニン選手と同タイムです。何と99人の大集団が僅か0.2秒の間に一齐にフィニッシュラインに飛び込んだのでした。これだけでも記憶に残るレースと言えますが、大宮選手の足を支えていたのは、「片倉シルク号」と言います。この日本製競技用自転車の製造を支援したのは、諏訪の製糸を一躍世界に広めた片倉工業だったのでした。

その③

前回東京五輪最大のエポックは「東洋の魔女」、鬼の大松と呼ばれた監督に率いられた日紡貝塚を主体とした女子バレーボールチームの金メダルでしょう。この偉業もさることながら、日紡貝塚が当時公式戦で挙げていた8年間にわたる連勝記録は何と、258！しかし記録はいつか止まるもの。その五輪から2年の後、259連勝目を阻止し日本のスポーツ界に残る“大逆転”を演じたのが、下諏訪町で創部された「ヤシカ」だったので（1966年時点では本拠地は東京に移っていましたが）

おそらく、私の知らないところに諏訪とスポーツの物語はまだたくさんある事でしょう。

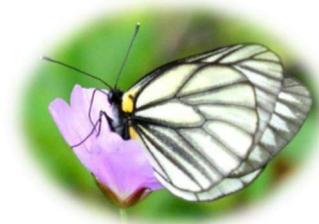
昨今諏訪湖周りでは「泳ぐ」「漕ぐ」「走る」の3種目を一人で闘うトライアスロン大会誘致の機運があると聞きました。

トライアスロンでは、3種目のどれか一つが秀でているだけでは勝てません。しかし、何かが秀でていなければ一流にはなれません。調和と才覚が試されます。

湖と里と山。智と動と清。諏訪には3つの支えが良く似合います。泳げる諏訪湖。スポーツとの縁が深い諏訪の地。

新しい街の未来図が見えてくるように思います。

※ 船木さんは、高校時代生物部でミヤマシロチョウを研究されました。当時NHKのスタジオ101にも出演されました。それが動機になって、フジテレビに入社されたそうです。船木さんは、スポーツが地方の文化や経済をけん引していく仕組みづくりにとりくんでおられます。スポーツの枠にとどまることのないその思考の新しさ、実行力を尊敬しております。(高木)



理事会報告

- | | |
|-------|--|
| 第124回 | 日時：令和2(2020)年 2月23日 (日) 10:00～
場所：スマートレイク事務所
出席者：田代 八幡 五味 鴨志田 田辺 金子 山村 高木
高木智子 小山ひろ子
内容：1. 諏訪湖創生ビジョン会議について(水環境保全部会 等)
2. 諏訪湖浄化実験について
3. その他 |
| 第125回 | 日時：3月15日(日)
場所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 市川 八幡 金子 田代 長崎(政) 高木
内容：1. ミャンマー・インレー湖訪問の報告
2. 諏訪湖創生ビジョン推進会議について
3. 井上・山村両氏による助成金応募計画について
4. 令和2年度総会について
5. その他 |
| 第126回 | 日時：6月21日(日)
場所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 金子 八幡 田代 五味 山村 市川 鴨志田 田辺 入江
長崎(政) 高木
内容：1. 令和2年度総会について(諏訪湖クラブニュース第29号紙上開催)
2. 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局会議
3. 一般向け「諏訪湖読本」印刷の経過と今後の予定
4. 令和2年度全国水質調査実施、報告の終了について
5. (株)みんなの自然エネルギーの今後について
6. 諏訪湖の流況調査(長野県発注、(株)いであ 受注)について
7. その他 |
| 第127回 | 日時：7月19日(日)
場所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 金子 宮原 山村 市川 平島 鴨志田 長崎 田代 八幡 高木
内容：1. クラブニュース29号の発行(書面総会の開催)について
2. 10月1日(諏訪湖の日)協賛事業について
3. 諏訪湖湖水の流動観測調査の開始について
4. その他 |



企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局
TEL/FAX 0266-58-0490 E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp
<https://suwako-club.com/about.html>

諏訪湖クラブニュース

No.29 令和2年8月